

広報たかさごでは、高砂市民病院の現状と、 今後について知っていただくための 記事を連載しています。

Q.1

**予定があり市民説明会に
参加できない場合、
どうしたらよいですか？**

A.1

市ホームページでは市長による説明動画を公開する予定です。また、一定数以上の参加人数が必要ではありますが、特別出前講座も予定しています。

Q.2

**経営形態の変更に関して
決定事項はありましたか？**

A.2

まだ、決定事項はありません。検討内容は9月下旬ごろに公表を予定しており、その内容は市民説明会などで説明します。

Q.3

**仮に経営形態が変わった場合、
病院の医療機能に
変更はありますか？**

A.3

変更の予定はありません。

Q.4

**近くに
大病院がありますが、
高砂市民病院は
必要なのですか？**

A.4

病院には主に3つの医療機能(役割)があります。

▼高度急性期

重症度が高く、高度な医療を必要とする状態

▼急性期

症状が急激に現れ、迅速な治療を必要とする状態

▼回復期

症状が安定し、機能回復や能力改善を目指す状態

高砂市民病院は急性期医療も行いますが、主に回復期を中心に運営していく方針です。回復期のベッドは医療圏域内で不足していることから、高砂市民病院は今後も必要です。

高砂市民病院は東播磨の医療圏域
(明石市、加古川市、高砂市、加古郡稲美町、播磨町)において、
「急性期病院」「回復期病院」としての機能を有し、
さらには「終末期医療」も実施しています。

国の地域医療構想という考えのもと、引き続き東播磨の医療を支えていきます。

連載 第3回

高砂市民病院の今

市民病院将来構想推進室 ☎079-441-7110

高砂市では、現在、「高砂市民病院将来構想」に基づく将来予測を作成しています。その結果について、さまざまな形で市民の皆さんにお知らせしていきます。

また、広報たかさごでは、高砂市民病院の現状と、今後について知っていただくための記事を連載しています。過去の記事もぜひご覧ください。

高砂市民病院
将来構想

市ホームページ
ページ 12229

高砂市民病院の今
(過去の記事)

市ホームページ
ページ 12548



将来の高砂市民病院について市民説明会を開催します。

と き		と ころ	定 員
10月18日(土)	14時～15時30分	北浜地域交流センター 多目的ホール	100人
10月19日(日)	10時～11時30分	ユーアイ帆っとセンター 交流スペース 1・2・3	96人
10月19日(日)	14時～15時30分	市役所南庁舎 大会議室	150人
10月26日(日)	15時～16時30分	生石研修センター 研修室 1	72人

- ※ 説明者は市長、病院事業管理者です。
- ※ どの会場の説明会にも参加できます。
- ※ 事前の申し込みは不要です。

説明会の内容

- 新病院建設費を含めた将来予測の結果
- 将来予測の結果を踏まえた経営形態
- 新病院の移転候補地 など

市民説明会以外に

- 市長による説明動画
 - 特別出前講座
 - 意見募集(パブリックコメント)
- を予定しています。
詳しくは、広報たかさご10月号でお知らせします。